

科目名	教育学概論			科目コード	5001
開講学科	教職課程	単位数	2	形態	講義
教員名	上林 梓				
授業の目的及びテーマ					
現代社会における教育課題を歴史的な視点から理解し、教育の基本的な問題に関する理解や考え方の原則を学ぶ。教育学の基礎的諸概念を理解し、現代の教育問題やこれからの教育の在り方について考えるための基本的観点の形成を図る。					
授業概要					
教育学の領域から、教育制度、教育方法、学校文化、家族に関連して、いくつかのトピックをとりあげ、その歴史や思想を学ぶことによって、現代社会における教育の基本的概念や理念についての理解を深めることを目指す。					
授業計画					
第 1 回：教育学とは何か（教育制度、教育方法、教育史、教育思想）・ 「教育」「学校」「発達」「学習」の語義					
第 2 回：公教育の歴史と思想①ー近代教育制度の成立（公教育、天皇主権、教育勅語、御真影、国定教科書）					
第 3 回：公教育の歴史と思想②ー戦後教育改革（国民主権、教育を受ける権利、学習指導要領、検定教科書）					
第 4 回：教育評価の歴史と思想①ー教育評価の変遷（教育評価、受験重視教育、一教科一評定主義、観点別評価）					
第 5 回：教育評価の歴史と思想②ー現代における教育評価（新しい学力観、ポートフォリオ評価、ルーブリック、自己評価）					
第 6 回：特別支援教育の歴史と思想①ー整備の遅れた障害のある子どもの教育（障害のある子どもの教育を受ける権利、特殊教育制度、就学義務の猶予・免除、分離教育、統合教育）					
第 7 回：特別支援教育の歴史と思想②ー特殊教育から現代の特別支援教育（ノーマライゼーションの思想、インクルーシブ教育、特別支援教育制度）					
第 8 回：特別支援教育の歴史と思想③ー現代における障害のある生徒への性教育（障害のある人の性、リプロダクティブ・ヘルス・ライツ、性教育）					
第 9 回：子どもと家族の歴史と思想①ー家庭のしつけの近現代（近代以前の家族、働く子ども、近代家族、教育される子ども）					
第 10 回：子どもと家族の歴史と思想②ー現代の子どもの誕生（子ども観、アリエス、小さな大人、大人と区別されるべき存在としての子ども）					
第 11 回：子どもと家族の歴史と思想③ー近代の児童中心主義の教育思想（「子どもから」の教育、ルソー、デューイ、大正自由教育）					
第 12 回：子どもと家族の歴史の思想④ー現代の児童虐待（家族の多様化、児童虐待防止法、児童相談所対応件数、愛着形成）					
第 13 回：学校文化の歴史と思想①ー学校建築の歴史的変遷（学校文化の生成、擬洋風建築、兵舎モデル、オープンスクールの思想）					
第 14 回：学校文化の歴史と思想②ー運動場と金治郎像のある風景（体育と徳育、遠足運動会、二宮金次郎、臣民モデル）					
第 15 回：学校文化の歴史と思想③ー制服の教育的意味づけ（軍服モデル、エリート主義、管理主義、ファッションとしての制服）					
テキスト	「基礎教育学」 江原武一、山崎高哉 （財団法人放送大学教育振興会）		参考文献	「図説 教育の論点」 久富善之、長谷川裕、山崎鎮親 （旬報社）	
評価方法：					
課題提出 2 課題及び筆記試験					